



現場社員の切実な声を支社に訴える

申2号・申3号・提案団体交渉終了！

新潟地本は12月18日、申2号・次期ダイヤ改正から導入する「行路選択制」に関する申し入れ、申3号・「ディスクブレーキ凍結対策」及び「ディスクブレーキ凍結に対する取り扱い」に関する緊急申し入れ、及び2018年度「システムチェンジ・コストダウン計画」についての提案団体交渉を行いました。

申3号 「ディスクブレーキ凍結対策」及び 「ディスクブレーキ凍結に対する取り扱い」に関する緊急申し入れ

ディスクブレーキ凍結確認のための小移動を車掌の入換合図により行うとする支社側に対して、現地での教育や根本的な凍結防止対策の実施などを求めて交渉に臨みました。

支社側は、実施間際の周知により現場を混乱させたことについてお詫びするとしながらも実施の姿勢を変えませんでした。交渉団は降積雪下で初めての場所で初めて行う作業であることから安全上の問題があり、車掌による作業の中止を求めるとともに、実施するのであれば現地での教育実施を強く求めましたが支社側はこれを否定、交渉は対立に終わりました。

申2号 次期ダイヤ改正から導入する「行路選択制」に関する申し入れ

次期ダイヤ改正から導入される「育児・介護勤務A」適用者の行路選択制について、安全安定輸送を担う社員の生活を充実させる制度運用の実現に向けて交渉に臨みました。

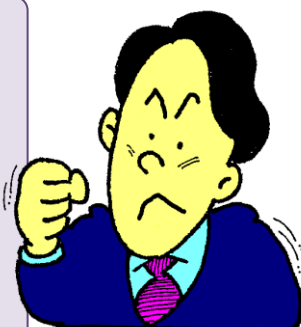
短時間行路は現行の体制に基づき新潟・長岡に設定、ダイヤ改正後に制度の申請があれば行路を半分にして設定するイメージはしているし作らなければならないとしました。

短時間行路は①制度利用者、②指導担当、③本線乗務員の順に充当し、現時点で企画部門社員、当務主務専用の行路を設定する考えはないとしました。

提案 2018年度「システムチェンジ・コストダウン計画」について

「びゅうプラザの業務運営体制の見直し」として、びゅうプラザ4店舗廃止により酒田駅△4、新津駅△4、上越妙高駅△4、燕三条駅△6、あわせて要員△18とする提案を受けました。

「ダイヤ改正」として、短時間行路の設定、ワンマン運転化、上越新幹線E7系導入に伴い、長岡運輸区運転士+2、新潟運輸区車掌△1、新潟新幹線運輸区車掌△1、あわせて要員±0名とする提案を受けました。



職場からの声で安全で働きやすい環境の実現を目指そう！